

魚沼ケーブルテレビに関するアンケート調査結果

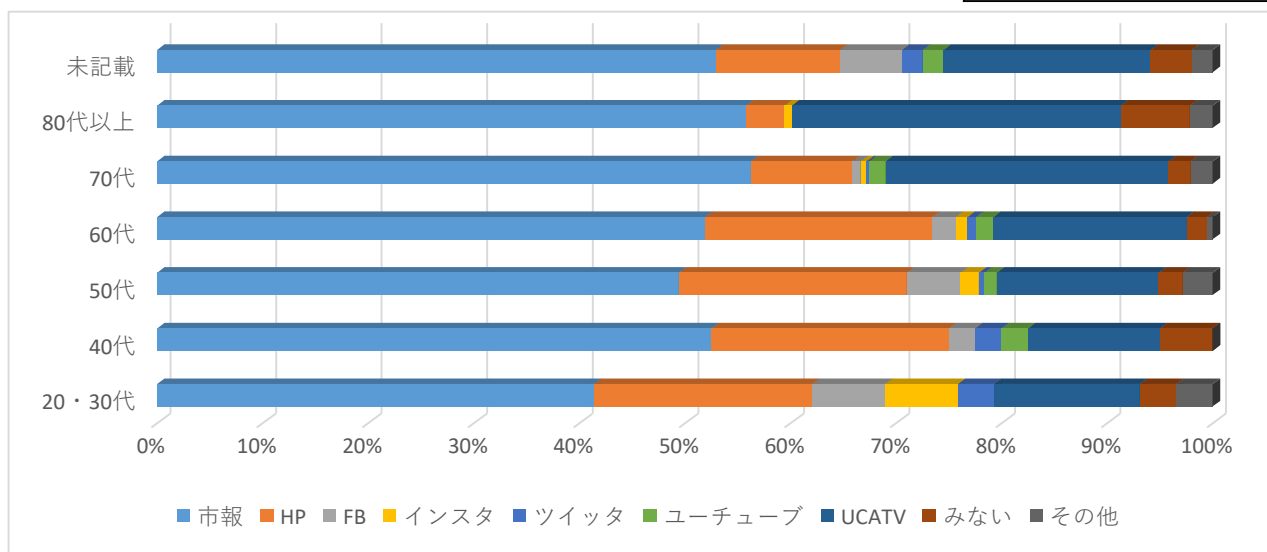
1. 加入者

(1) 年代別

設問(1).現在の市政情報等の入手媒体

	市報	HP	FB	インスタ	ツイッタ	ユーチューブ	UCATV	みない	その他
20・30代	12	6	2	2	1	0	4	1	1
40代	21	9	1	0	1	1	5	2	0
50代	87	38	9	3	1	2	27	4	5
60代	190	79	8	4	3	6	67	7	2
70代	216	37	3	2	1	6	103	8	8
80代以上	77	5	0	1	0	0	43	9	3
未記載	27	6	3	0	1	1	10	2	1
計	630	180	26	12	8	16	259	33	20

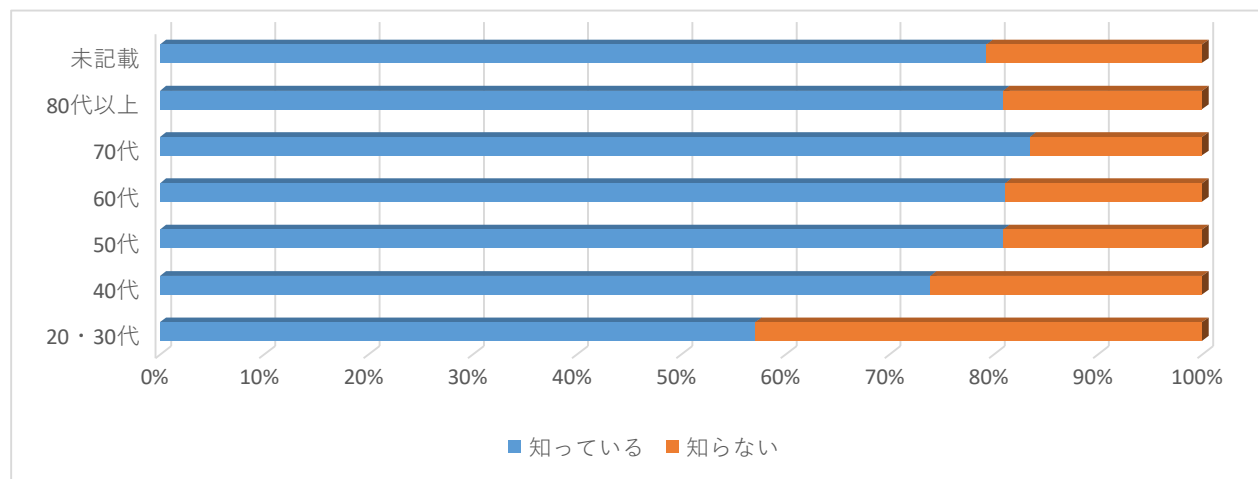
年齢層が高くなるにつれ「市報」が多く、20～60代までは一定の割合で「HP」が占めている。70～80代では「CATV」の割合も高い。20～30代では、SNSが約2割を占めている。



設問(2).地域限定の認知度

	知っている	知らない
20・30代	8	6
40代	17	6
50代	72	17
60代	163	38
70代	192	38
80代以上	72	17
未記載	23	6
計	547	128

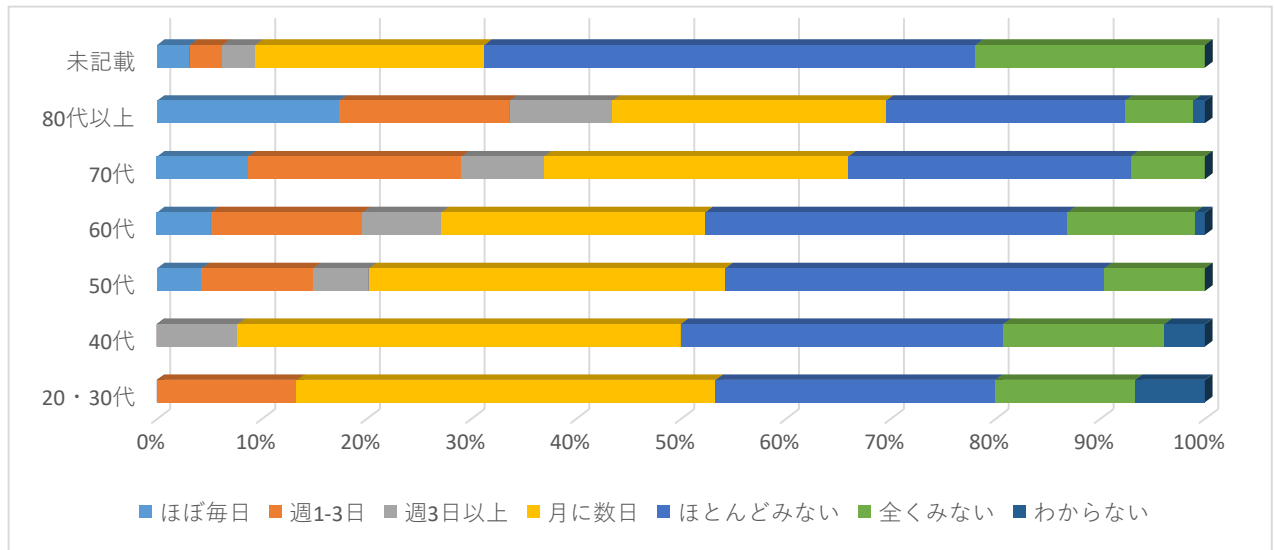
ほぼ8割が「知っている」と回答しているが、年齢層が下がるにつれ、「知らない」の割合が多く、「地域限定である」という認識は低いことが伺えた。



設問(3).独自番組を観る頻度

	ほぼ毎日	週1-3日	週3日以上	月に数日	ほとんどみない	全くみない	わからない
20・30代	0	2	0	6	4	2	1
40代	0	0	2	11	8	4	1
50代	4	10	5	32	34	9	0
60代	11	31	16	54	74	26	2
70代	21	49	19	70	65	17	0
80代以	16	15	9	24	21	6	1
未記載	1	1	1	7	15	7	0
計	53	108	52	204	221	71	5

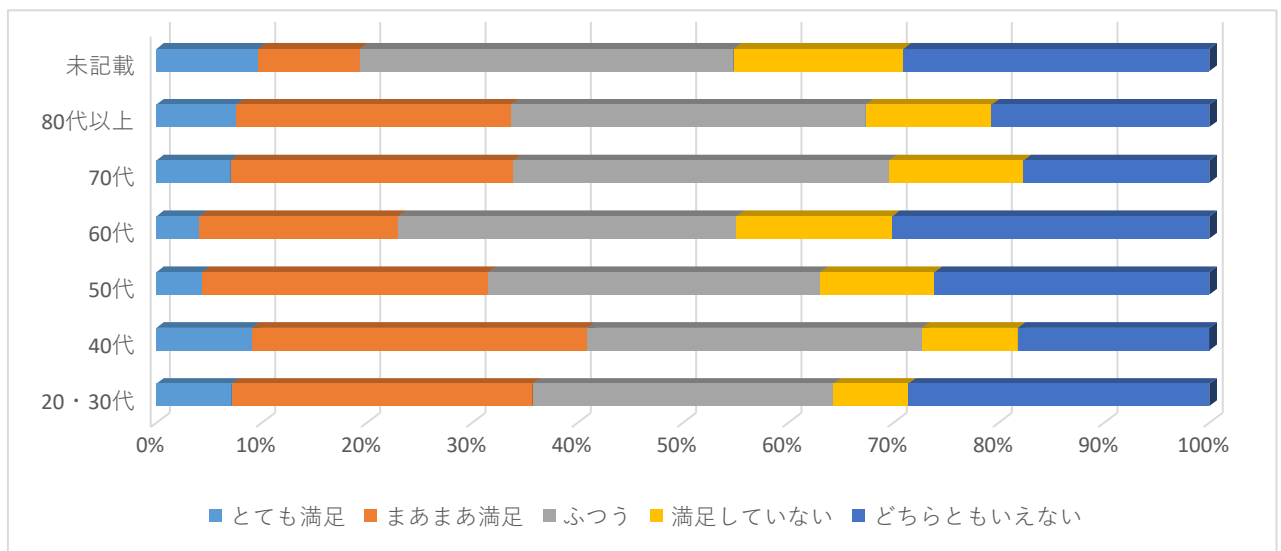
「月に数日」が多く、「ほとんど観ない」「全く観ない」の割合も、各年代で多い状況であった。



設問(4).独自番組の満足度

	とても満足	まあまあ満足	ふつう	満足していない	どちらともいえない
20・30代	1	4	4	1	4
40代	2	7	7	2	4
50代	4	25	29	10	24
60代	8	37	63	29	59
70代	16	61	81	29	40
80代以上	7	24	31	11	19
未記載	3	3	11	5	9
計	41	161	226	87	159

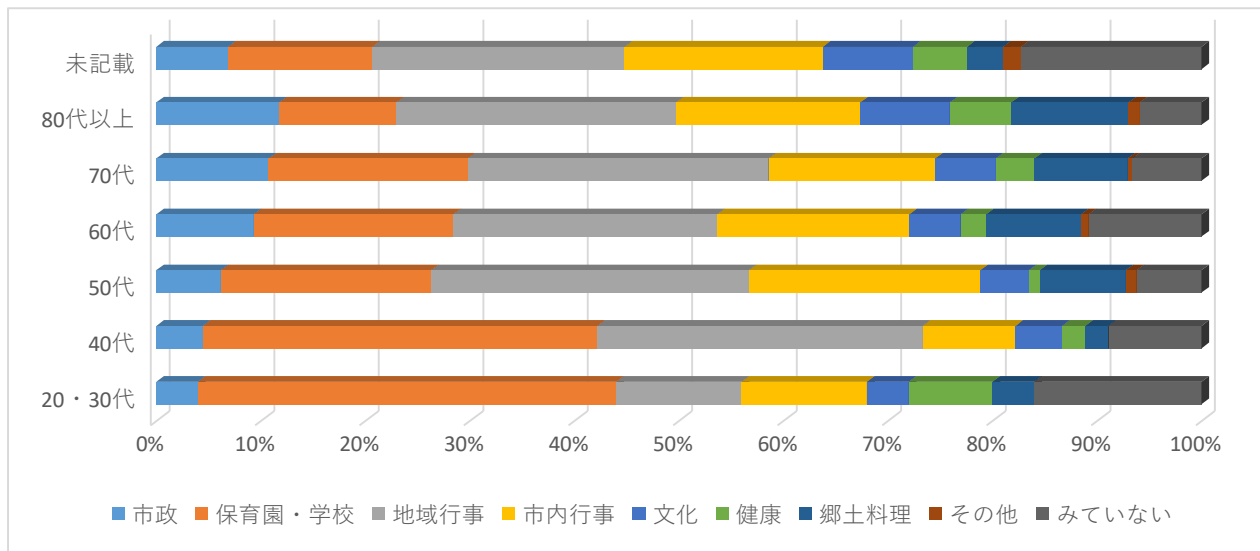
年代による大きな差異は見られなかった。60代の満足度が若干少ない傾向にあった。



設問(5). 関心のあるコーナー

	市政	保育園・学校	地域行事	市内行事	文化	健康	郷土料理	その他	みていない
20・30代	1	10	3	3	1	2	1	0	4
40代	2	17	14	4	2	1	1	0	4
50代	12	39	59	43	9	2	16	2	12
60代	38	78	103	75	20	10	37	3	44
70代	52	92	139	77	28	18	43	2	32
80代以上	22	21	50	33	16	11	21	2	11
未記載	4	8	14	11	5	3	2	1	10
計	131	265	382	246	81	47	121	10	117

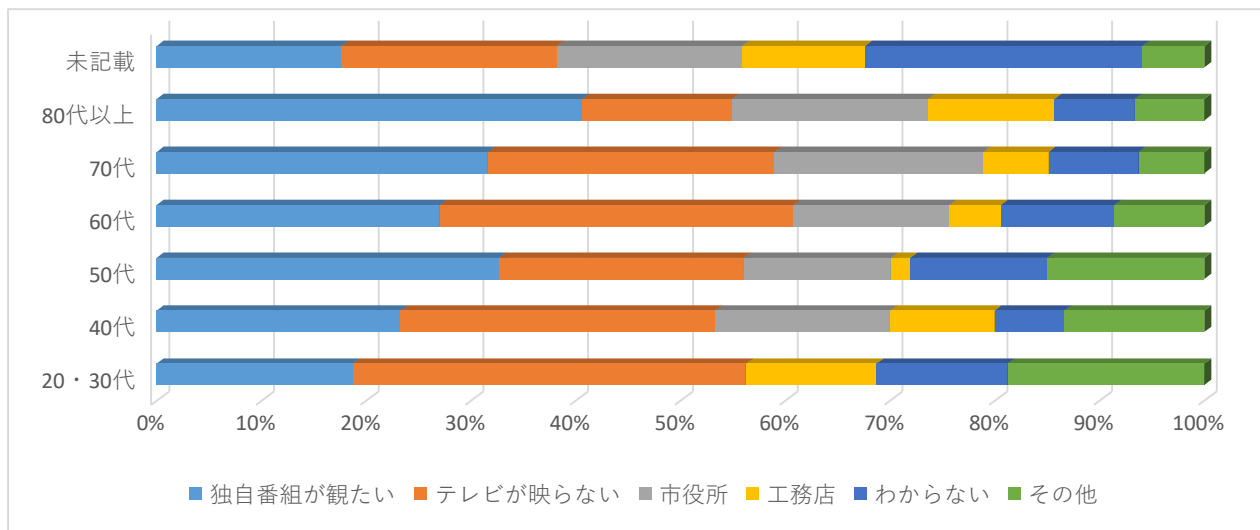
40代までは「保育園・学校行事」を観ている割合が多いことが伺えた。その他「地域行事」「市内行事」と続いた。



設問(6). 加入した理由 (加入者)

	独自番組が観たい	テレビが映らない	市役所	工務店	わからない	その他
20・30代	3	6	0	2	2	3
40代	7	9	5	3	2	4
50代	35	25	15	2	14	16
60代	60	75	33	11	24	19
70代	81	70	51	16	22	16
80代以上	37	13	17	11	7	6
未記載	6	7	6	4	9	2
計	229	205	127	49	80	66

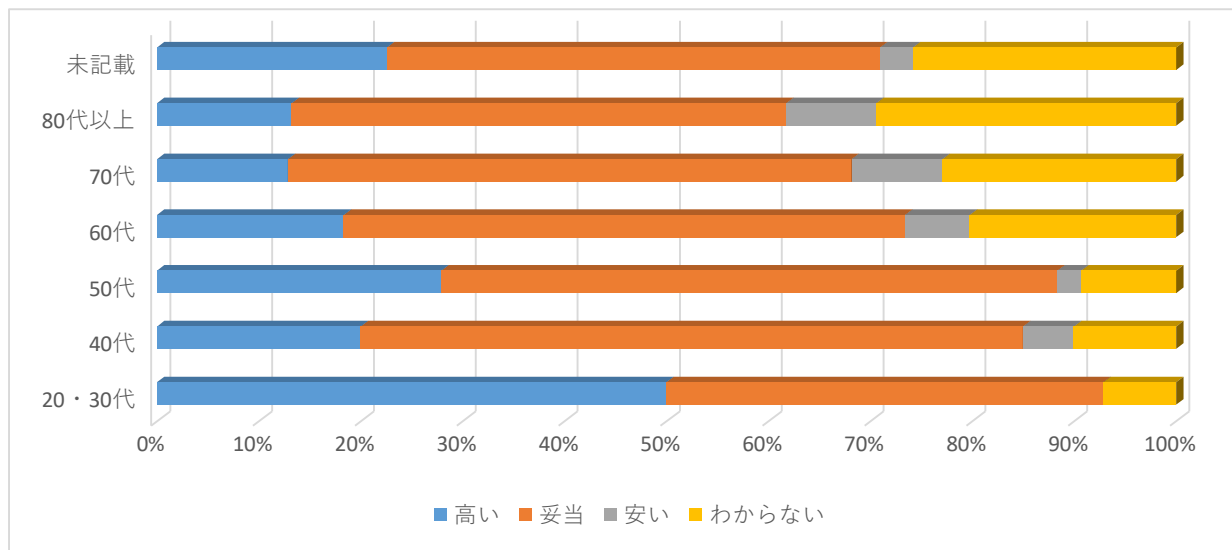
「難視聴地域」であること以外は、「独自番組が目的」である割合が多くなっている。わからないという方も10%程度いた。



設問(7). 利用料金について

	高い	妥当	安い	わからない
20・30代	7	6	0	1
40代	4	13	1	2
50代	12	26	1	4
60代	29	87	10	32
70代	23	99	16	41
80代以上	9	33	6	20
未記載	7	15	1	8
計	91	279	35	108

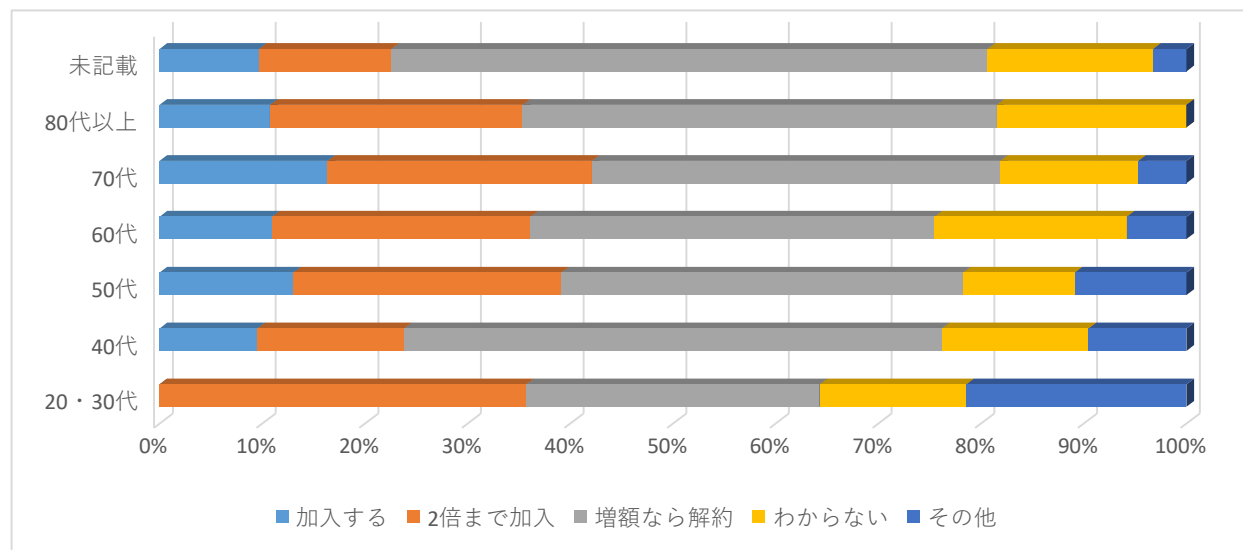
20～30代は「高い」と感じている人が多く、40～80代は「妥当」と感じている人が多いことが伺えた。



設問(8). 今後の加入希望

	加入する	2倍まで加入	増額なら解約	わからない	その他
20・30代	0	5	4	2	3
40代	2	3	11	3	2
50代	6	12	18	5	5
60代	17	39	61	29	9
70代	28	44	68	23	8
80代以上	7	16	30	12	0
未記載	3	4	18	5	1
計	63	123	210	79	28

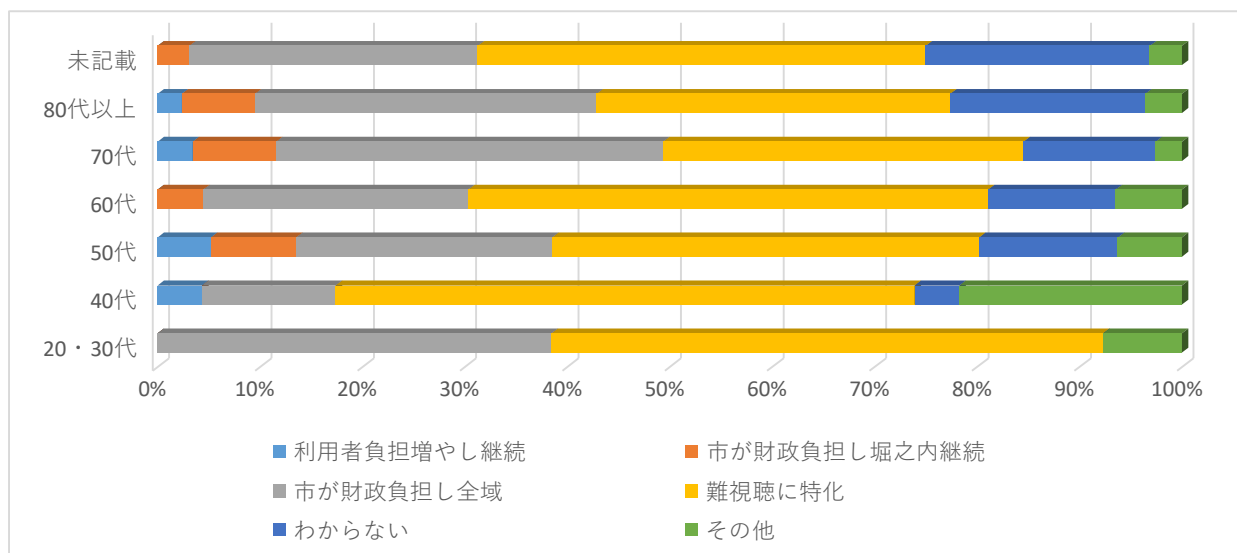
20～30代は「2倍までなら加入」の割合も高いが、40代以上は「増額になるのであれば解約」という方が大半を占めた。



設問(9). 今後の在り方

	利用者負担増やし継続	市が財政負担し堀之内継続	市が財政負担し全域	難視聴に特化	わからない	その他
20・30代	0	0	5	7	0	1
40代	1	0	3	13	1	5
50代	5	8	24	40	13	6
60代	0	9	52	102	25	13
70代	8	19	88	82	30	6
80代以上	2	6	28	29	16	3
未記載	0	1	9	14	7	1
計	16	43	209	287	92	35

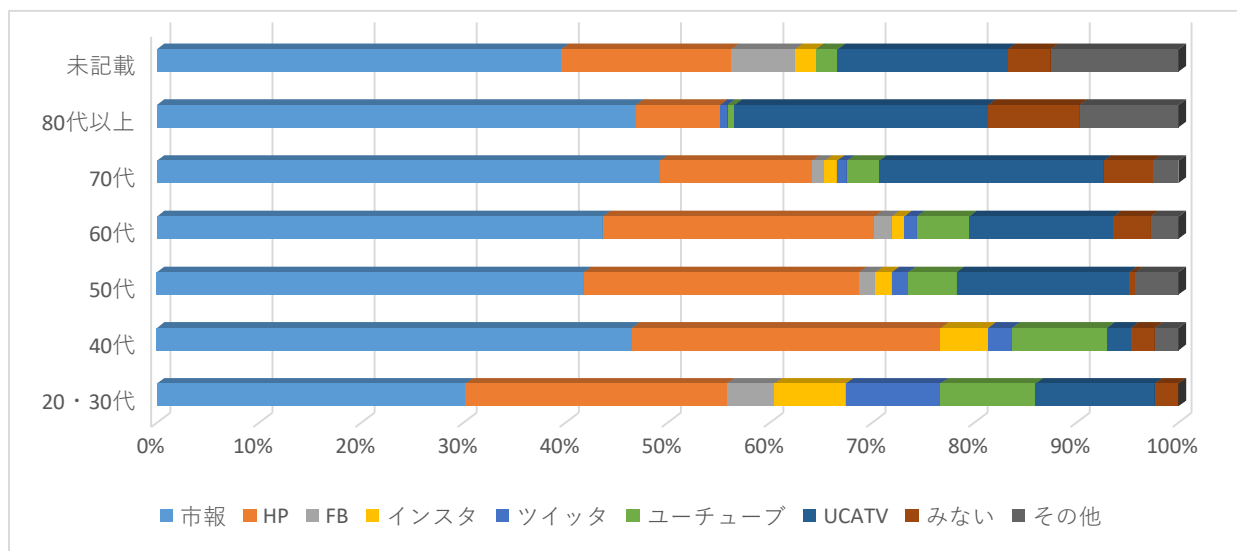
30～60代は「難視聴地域に特化」の割合が多く、70代以上は「難視聴地域に特化」と共に「市が財政負担して全域」の割合も多くなっている。
全体では「難視聴地域に特化」が最も多く42%である。



設問(10). 今後の市政情報の希望

	市報	HP	FB	インスタ	ツイッター	ユーチューブ	UCATV	みない	その他
20・30代	13	11	2	3	4	4	5	1	0
40代	20	13	0	2	1	4	1	1	1
50代	79	51	3	3	3	9	32	1	8
60代	179	109	7	5	5	21	58	15	11
70代	202	61	5	5	4	13	90	20	10
80代以上	68	12	0	0	1	1	36	13	14
未記載	19	8	3	1	0	1	8	2	6
計	580	265	20	19	18	53	230	53	50

20～60代までが「市報」次いで「HP」の割合が多くなっている。70～80代は、「市報」に次いで「UCATV」となっている。



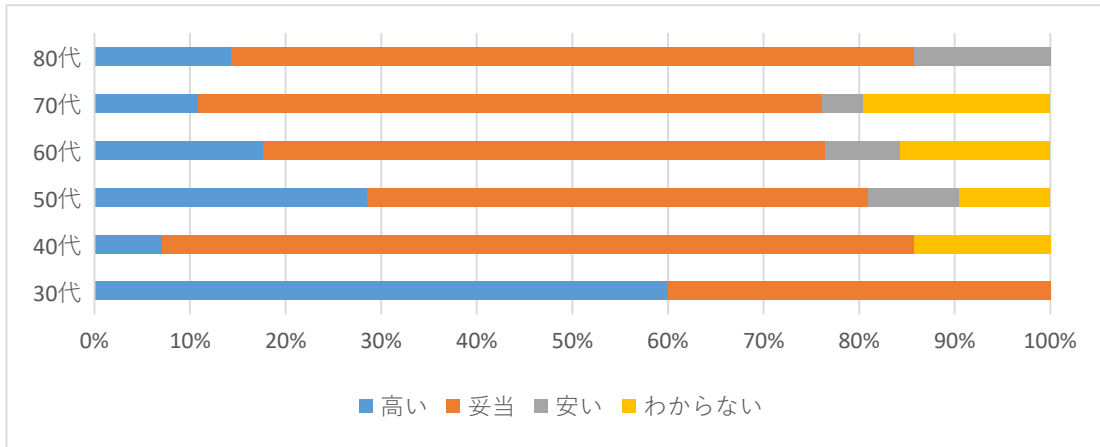
加入者・難視聴地域

(2) 難視聴地域（年代別）

利用料金について

	高い	妥当	安い	わからない	計
30代	3	2	0	0	5
40代	1	11	0	2	14
50代	6	11	2	2	21
60代	9	30	4	8	51
70代	5	30	2	9	46
80代	1	5	1	0	7
計	25	89	9	21	144

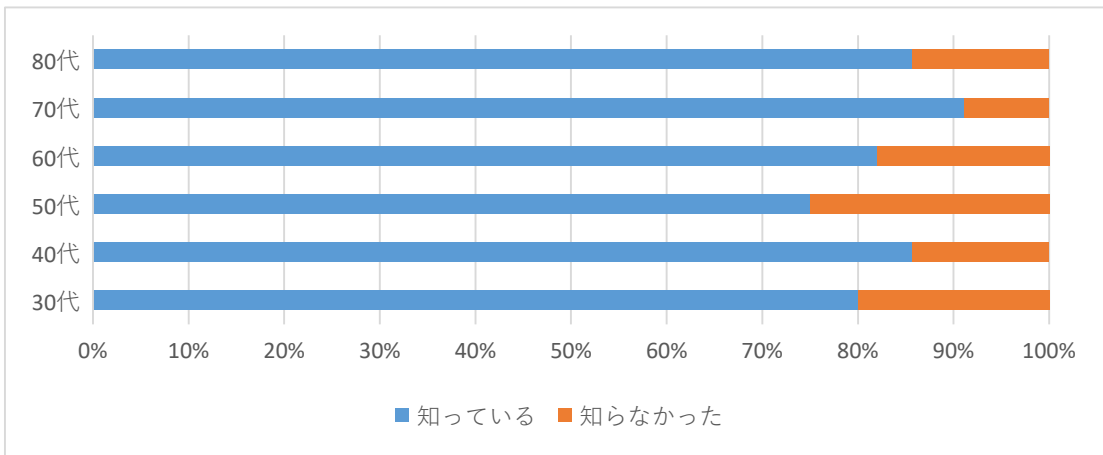
「妥当」と感じている方が6割である。30代は「高い」と感じている率が高いが、それ以上の年代では差異はそれほどみられない。



地域限定の認知度

	知っている	知らなかった	計
30代	4	1	5
40代	12	2	14
50代	15	5	20
60代	41	9	50
70代	41	4	45
80代	6	1	7
計	119	22	141

全年代を通して、約8割以上の方が知っているに回答した。

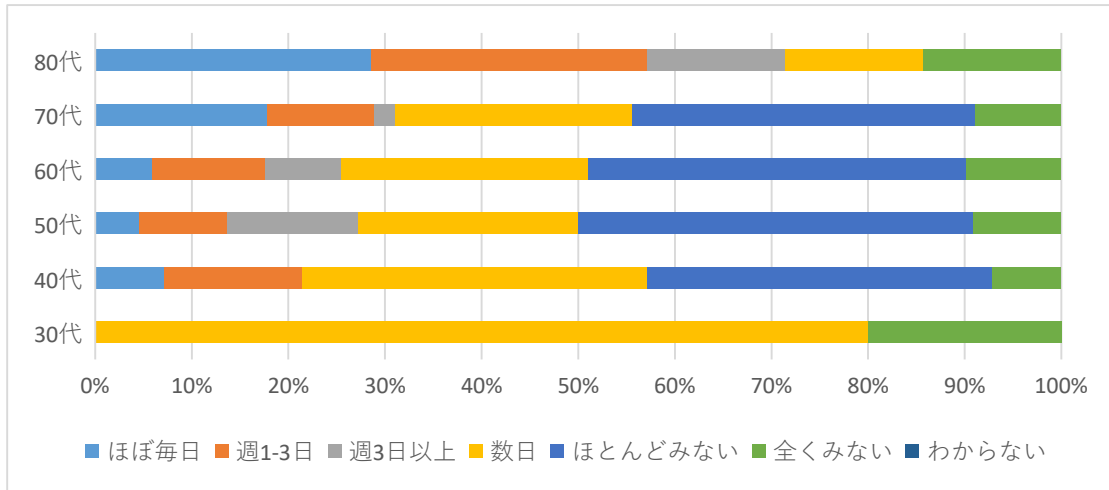


加入者（難視聴地域・年代別）

独自番組を観る頻度

	ほぼ毎日	週1-3日	週3日以上	数日	ほとんどみない	全くみない	わからない	計
30代	0	0	0	4	0	1	0	5
40代	1	2	0	5	5	1	0	14
50代	1	2	3	5	9	2	0	22
60代	3	6	4	13	20	5	0	51
70代	8	5	1	11	16	4	0	45
80代	2	2	1	1	0	1	0	7
計	15	17	9	39	50	14	0	144

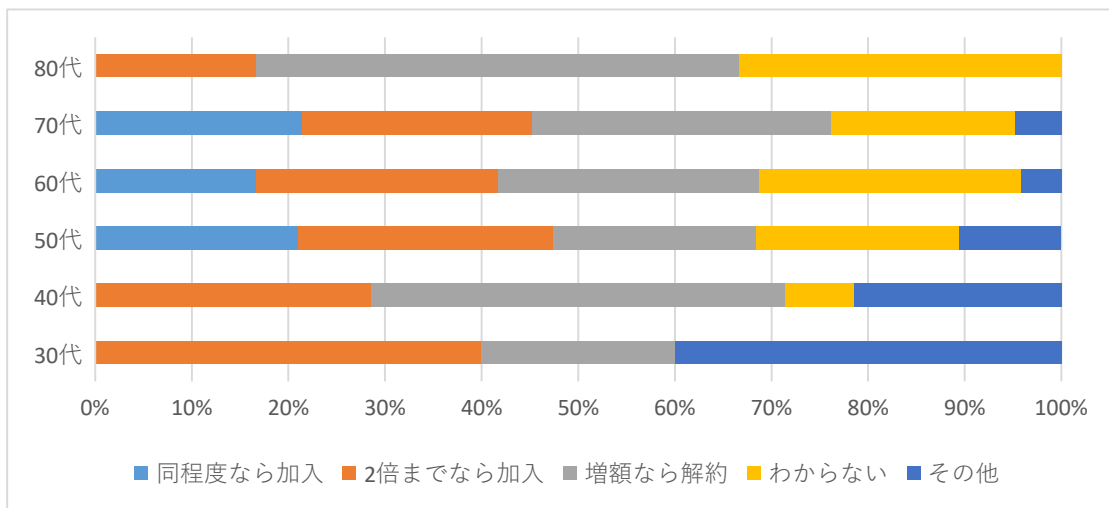
40代～70代で、「ほとんど観ない」「全く観ない」の割合が4割以上と高くなっている。



今後の加入の意向

	同程度なら加入	2倍までなら加入	増額なら解約	わからない	その他	計
30代	0	2	1	0	2	5
40代	0	4	6	1	3	14
50代	4	5	4	4	2	19
60代	8	12	13	13	2	48
70代	9	10	13	8	2	42
80代	0	1	3	2	0	6
計	21	34	40	28	11	134

全体では「増額解約」が多い。特に80代以上では5割以上が「増額解約」の意向である。若年層などでは「2倍までなら加入」も多い。

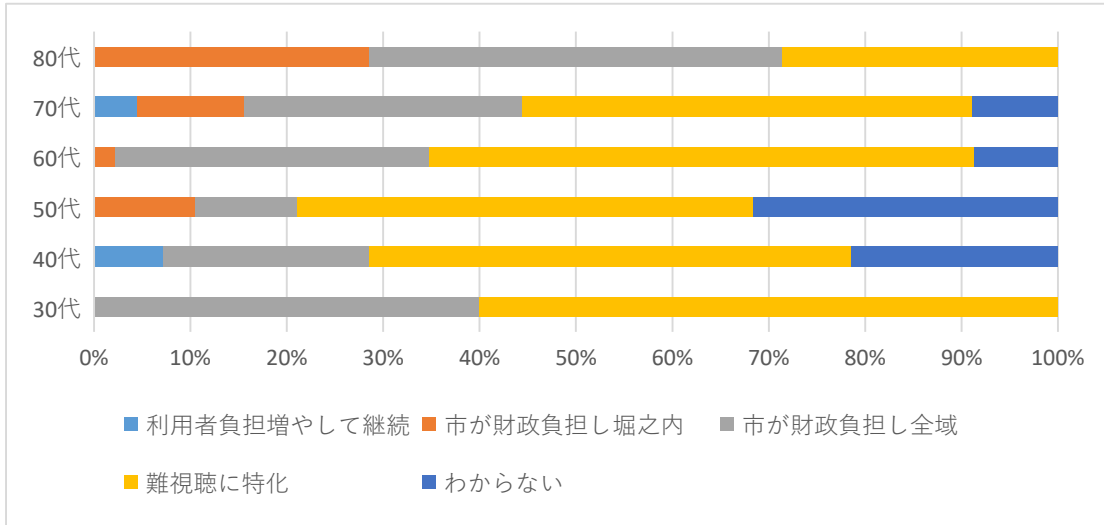


加入者（難視聴地域・年代別）

今後の在り方

	利用者負	市が財政	市が財政	難視聴に	わからな	その他
30代	0	0	2	3	0	0
40代	1	0	3	7	3	2
50代	0	2	2	9	6	0
60代	0	1	15	26	4	3
70代	2	5	13	21	4	1
80代	0	2	3	2	0	1
計	3	10	38	68	17	7

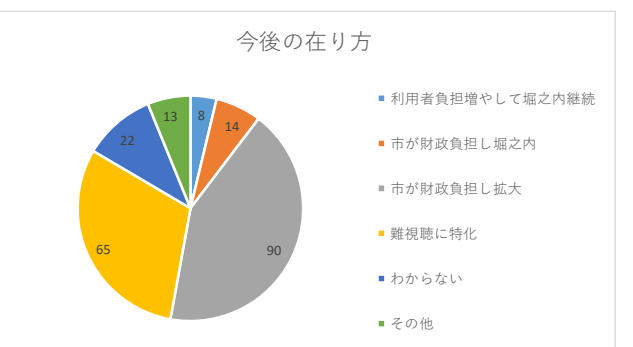
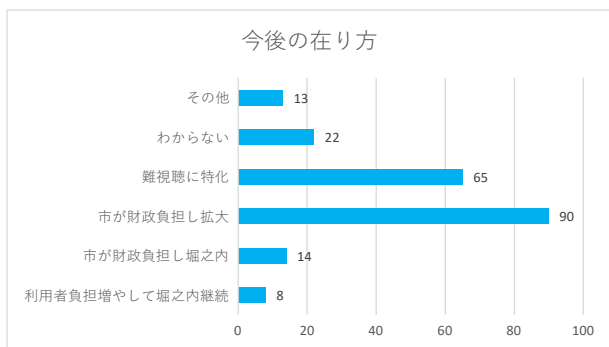
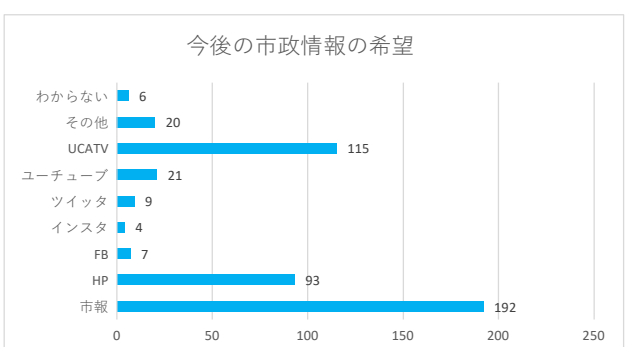
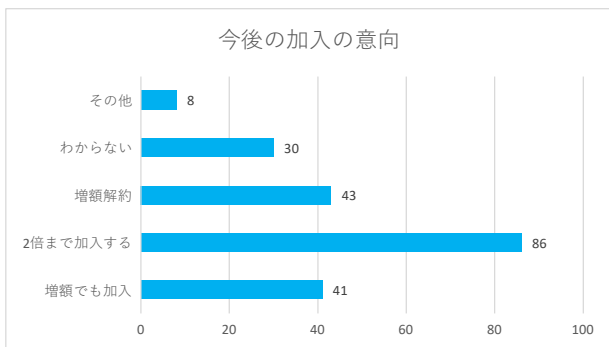
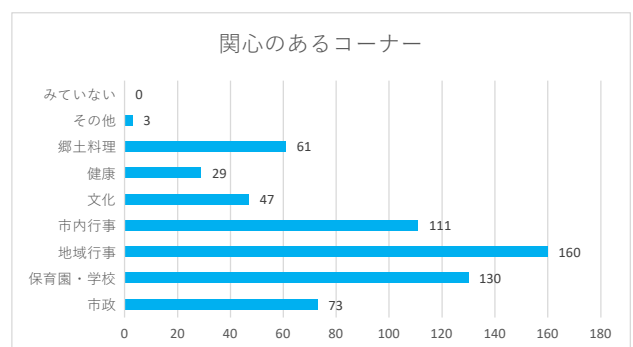
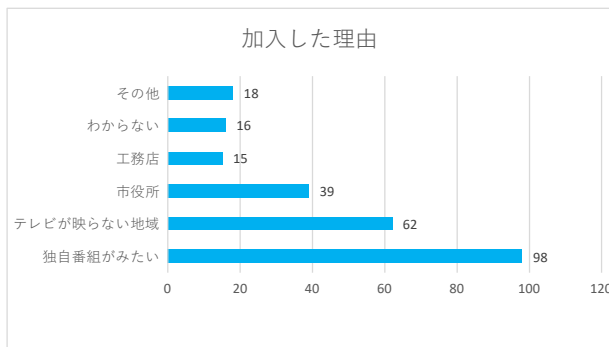
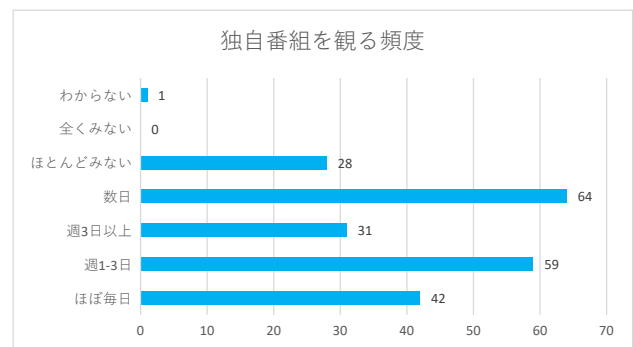
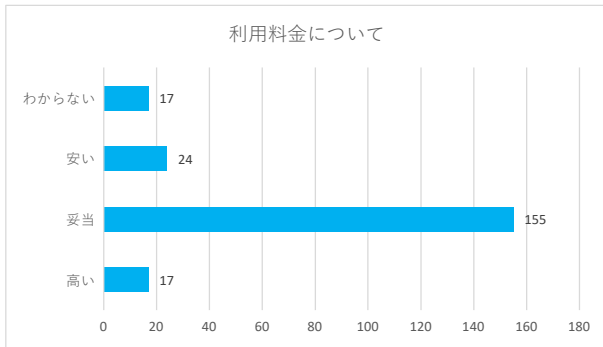
全年代を通して「難視聴地域に特化」の率が約5割を占めるが、80代では「市が財政負担し全域」が最も多い。



- ・80代以上では「増額なら解約」が多く、「市が財政負担し全域」が多い。特に難視聴エリアでは、これ以外の加入方法がないため加入したものであって、継続はして欲しい一方、これ以上の個人的な財政負担は難しいと感じていることがうかがえる。
- ・その他の年代では「難視聴地域に特化」の意向が約5割を占める。

(3)

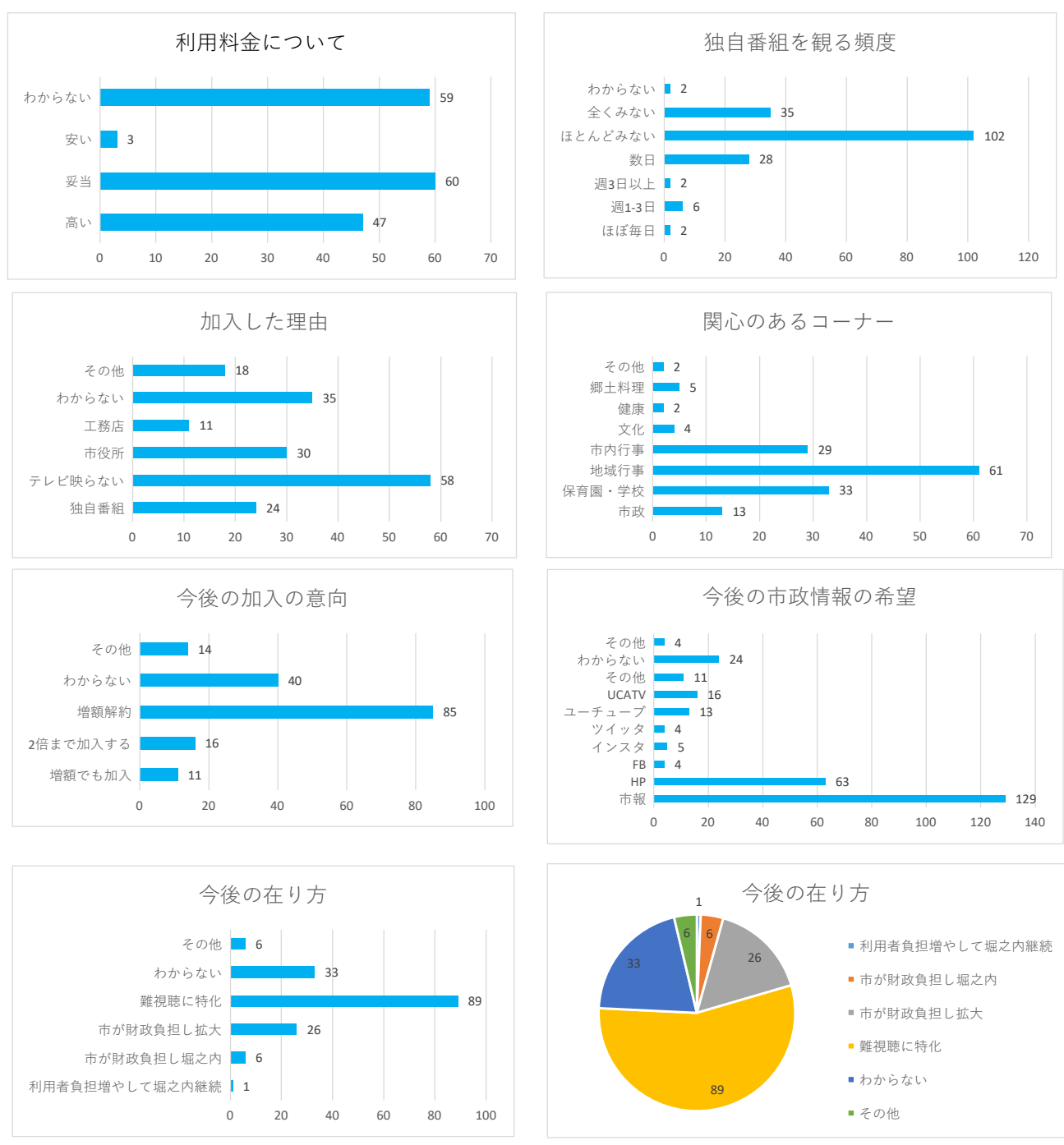
①-1 独自番組に満足群（とても満足・まあまあ満足）の属性



- ・「今後の加入意向」として、「増額でも加入」「2倍までなら加入」という意向を示した方が61%を占めた。
- ・「観る頻度」は、87%の方が月に数日以上は観ており、「利用料金」は妥当と感じている方が72%を占めた。
- ・「関心のあるコーナー」では、「地域行事」「保育園・学校行事」「地域行事」の順であった。
- ・「今後の在り方」については、「堀之内のみ継続」は少なく、「市が財政負担し拡大」が42%を占め、次いで「難視聴に特化」が30%であった。
- ・市政情報の希望は、「市報」「UCATV」「HP」の順であった。

(3)

①-2 独自番組に満足群以外（ふつう、満足していない、どちらともいえない）の属性

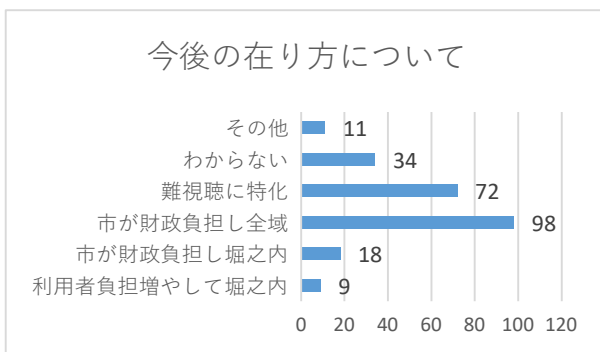
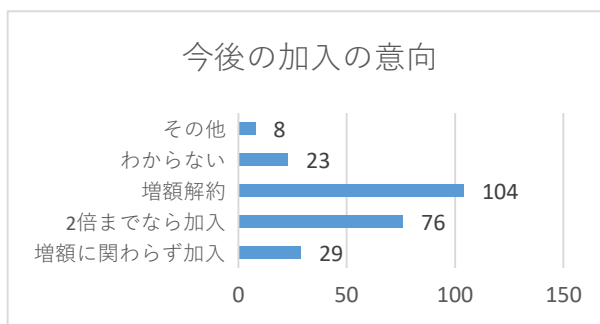
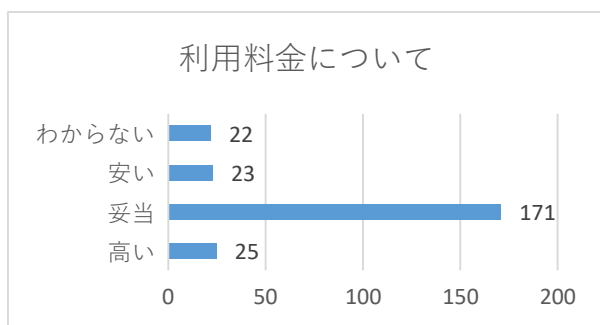
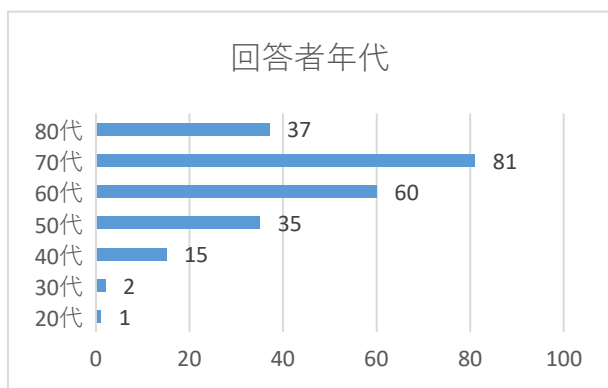


加入者で「独自番組に満足群以外」にある方の傾向

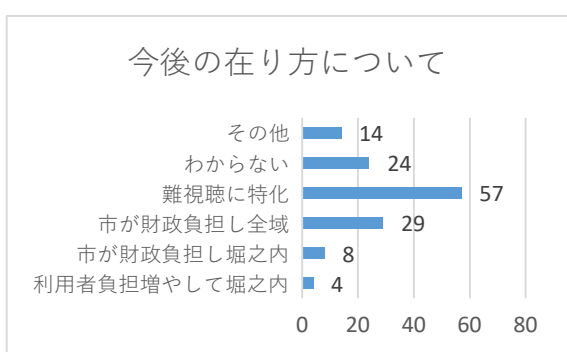
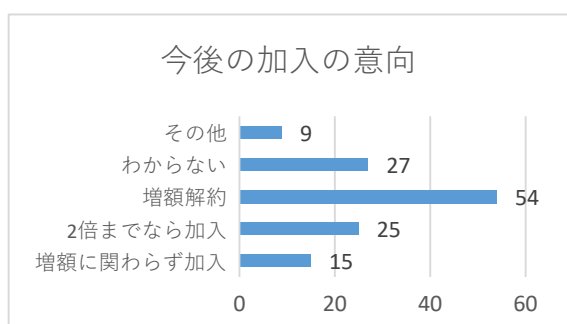
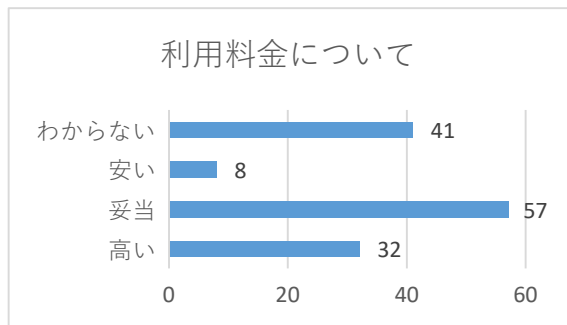
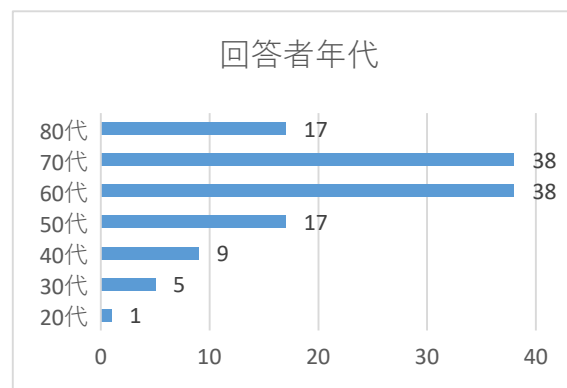
- ・「今後の加入意向」として、「増額なら解約」の方が51%を占めた。
- ・「観る頻度」は、「ほとんど観ない」が57%を占めた。
- ・「利用料金」は、「妥当」が35%、「高い」が27%、「分からない」が35%である。
- ・「関心のあるコーナー」では、「観ていない」以外では、満足群と同じく「地域行事」「保育園・学校行事」「地域行事」の順であった。
- ・「今後の在り方」については、「難視聴に特化」が62%を占めた。

(3)

② 「独自番組を目的に加入」した人の属性



③ 「地域限定と認識していなかった方」の属性

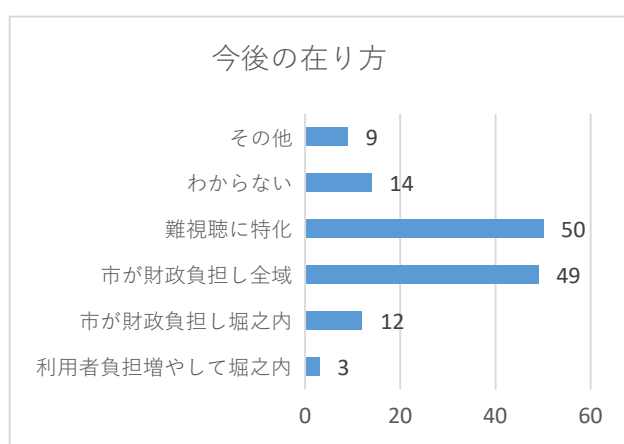
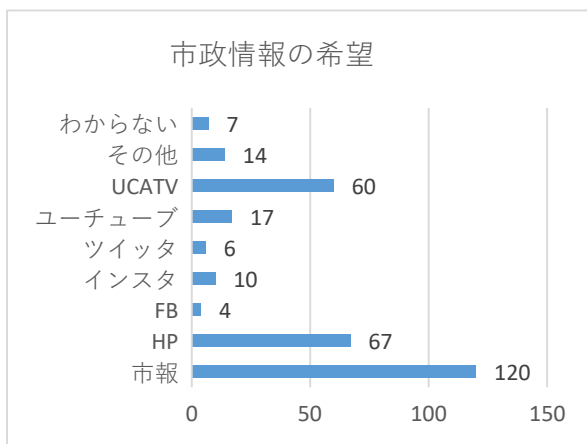
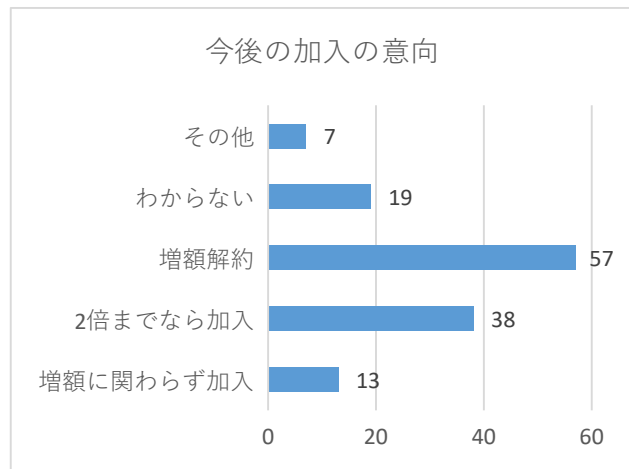
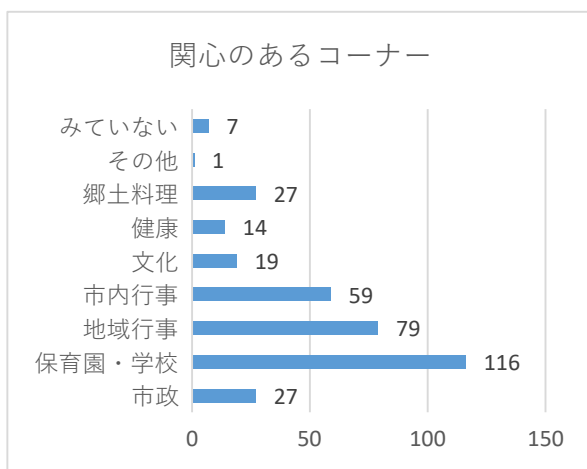
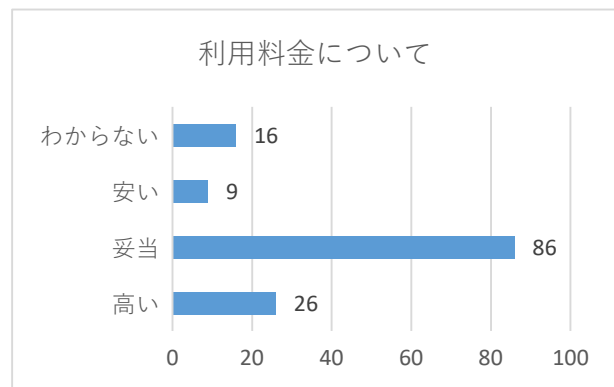
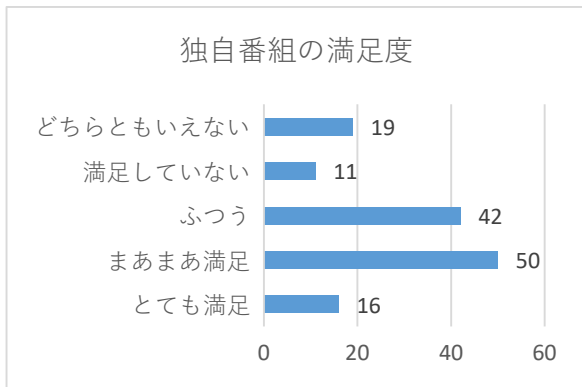


- ・利用料金の認識は「独自番組を目的に加入」した方は「妥当」の回答率が70%と高い。「地域限定と知らなかった方」は、41%が「妥当」、23%が「高い」と回答している。
- ・また「独自番組を目的に加入」した方は、今後の在り方としては「市が財政負担して全域」が最も多く40%を占めた。一方、今後の加入意向としては「増額解約」が43%と最も多いが、「増額でも加入、2倍まで加入」の合計43%と同程度となった。
- ・「地域限定と知らなかった方」は、「難視聴に特化」が42%で、さらに今後の加入意向としては「増額解約」が44%であり「増額でも加入、2倍まで加入」33%を大きく上回った。

(3)

加入者

④「中学生以下の子どもがいる世帯」の属性



- ・中学生以下の子どもがいる世帯であり、「興味のあるコーナー」としては「保育園・学校行事」が圧倒的に多い。しかし「満足度」については、満足群以外が52%と、満足群（とても満足、まあまあ満足）が48%を上回っている。
- ・また今後の加入意向については、加入の意向が38%となっており、増額なら解約43%を下回っている。
- ・今後の在り方としては、「難視聴に特化」と「市が財政負担し全域」がほぼ同数となっている。

魚沼ケーブルテレビに関するアンケート調査結果

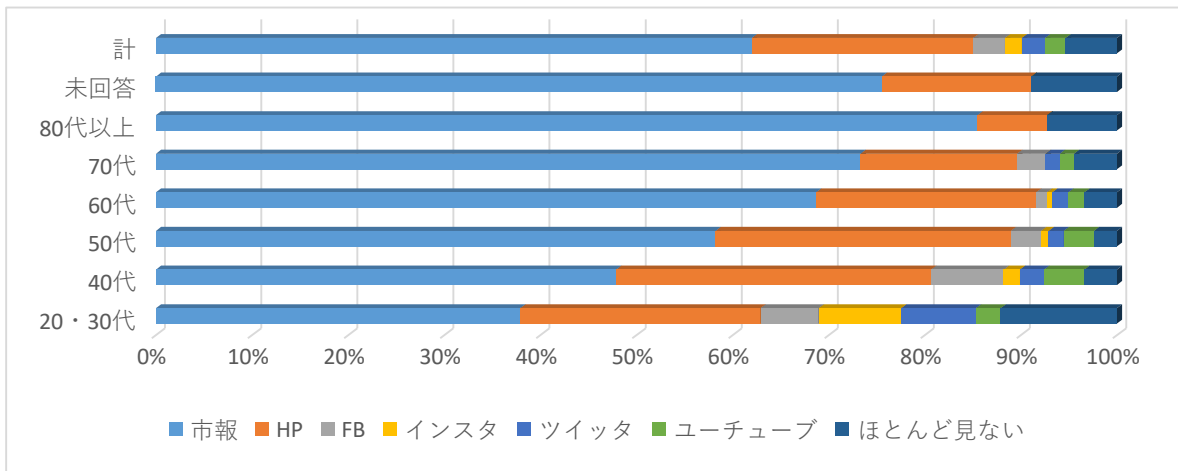
2. 未加入者

(1) 年代別

設問(1).現在の市政情報等の入手媒体

	市報	HP	FB	インスタ	ツイッター	ユーチューブ	ほとんど見ない
20・30代	44	29	7	10	9	3	14
40代	57	39	9	2	3	5	4
50代	74	39	4	1	2	4	3
60代	123	41	2	1	3	3	6
70代	99	22	4	0	2	2	6
80代以上	59	5	0	0	0	0	5
未回答	34	7	0	0	0	0	4
計	490	182	26	14	19	17	42

全年代において「市報」が最も高く、次いで「HP」であった。その他、20.30代では、SNSが2割を占めている。

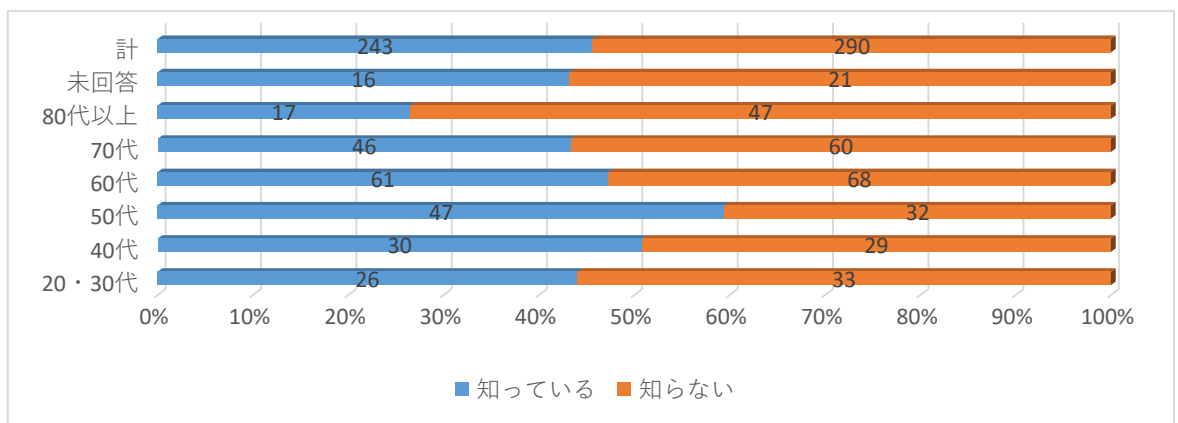


設問(2). 地域限定の認知度

	知っている	知らない
20・30代	26	33
40代	30	29
50代	47	32
60代	61	68
70代	46	60
80代以上	17	47
未回答	16	21
計	243	290

認知度は「知らない」の割合が多く、全体では54%であった。

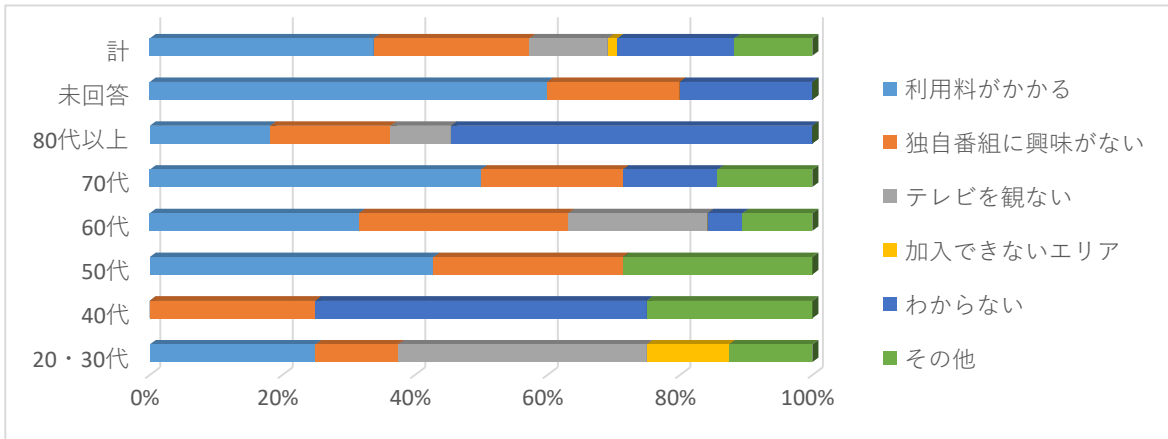
年齢別では、40～50代以外の、若年層及び高齢者層で、「知らない」の割合の方が上回っている。



設問(3). (堀之内) 加入しなかった理由

	利用料がかかる	独自番組に興味がない	テレビを観ない	加入できないエリア	わからない	その他
20・30	2	1	3	1	0	1
40代	0	1	0	0	2	1
50代	3	2	0	0	0	2
60代	6	6	4	0	1	2
70代	7	3	0	0	2	2
80代以	2	2	1	0	6	0
未回答	3	1	0	0	1	0
計	23	16	8	1	12	8

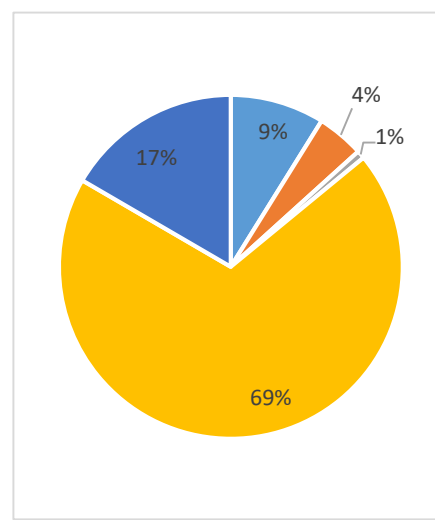
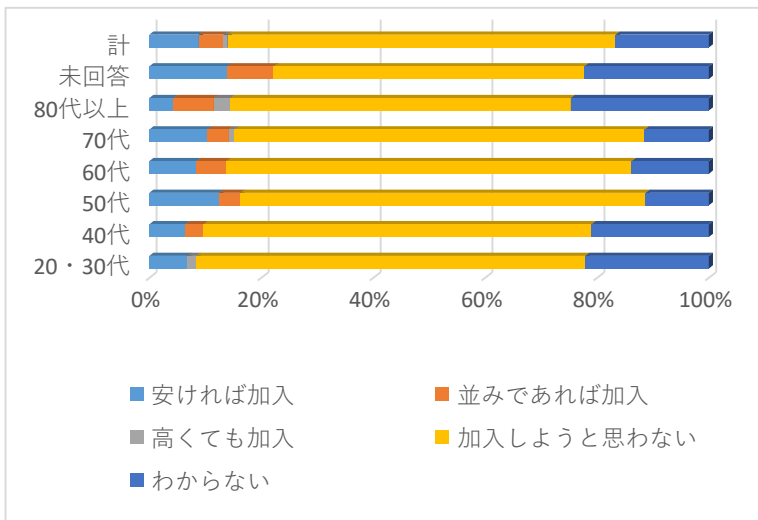
各年代ごとに、理由はまちまちで統一されていないが、全体的には、「利用料がかかるから」が一番多く、次いで「独自番組に興味がない」である。



設問(4). 全市展開となった場合の加入希望

	安ければ加入	並みであれば加入	高くても加入	加入しようと思わない	わからない
20・30	4	0	1	41	13
40代	4	2	0	43	13
50代	10	3	0	58	9
60代	11	7	0	95	18
70代	11	4	1	77	12
80代以	3	5	2	42	17
未回答	5	3	0	20	8
計	48	24	4	376	90
割合	9%	4%	1%	69%	17%

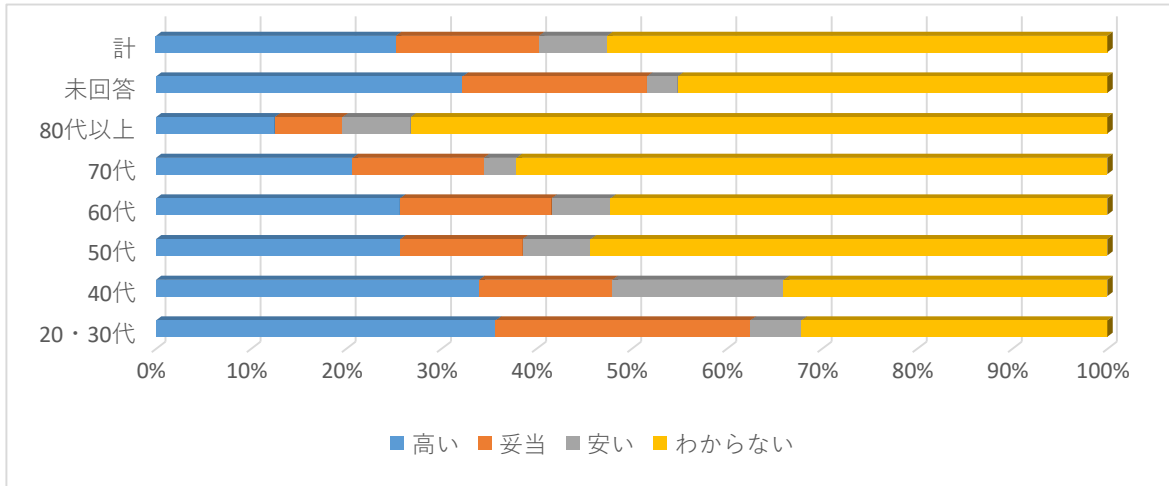
・年代ごとの大きな差異がみられなかった。
 ・加入の意向（安ければ、現状並み、高くても）を示した方が計14%、加入しようと思わないが約69%、分からない17%となっている。「分からない」と回答した方の内、加入する割合を3%と仮定すると、加入率は全体の17%となる想定となる。



設問(5). 利用料金について

	高い	妥当	安い	わからない
20・30	20	15	3	18
40代	17	7	9	17
50代	18	9	5	38
60代	29	18	7	59
70代	18	12	3	54
80代以	7	4	4	41
未回答	10	6	1	14
計	109	65	31	227

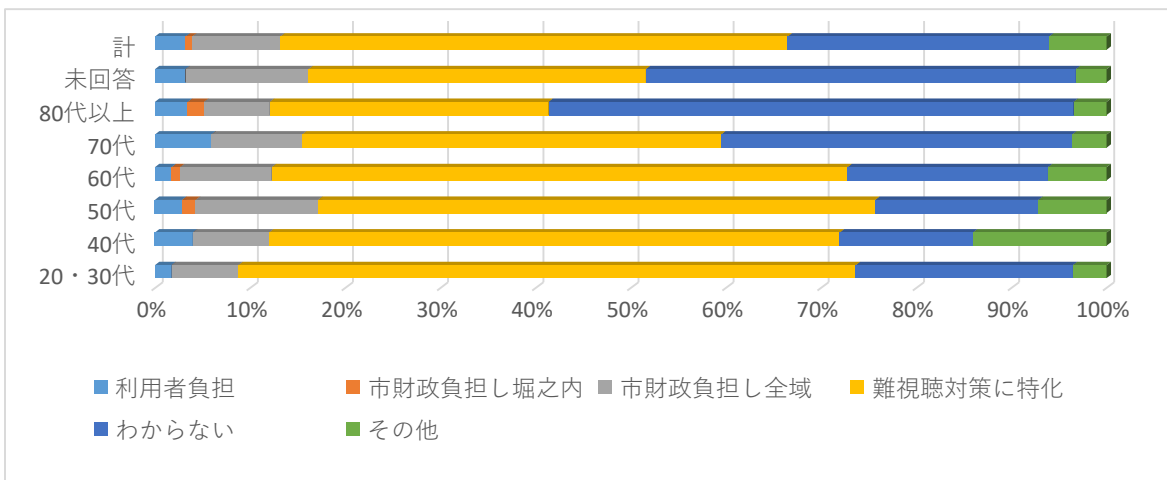
若年層になるに連れ、利用料を「高い」と感じる方が多く、現在繋がっていないケーブルテレビであるため、全年齢層を通し「わからない」「高い」が多い結果となった。



設問(6). 今後の在り方

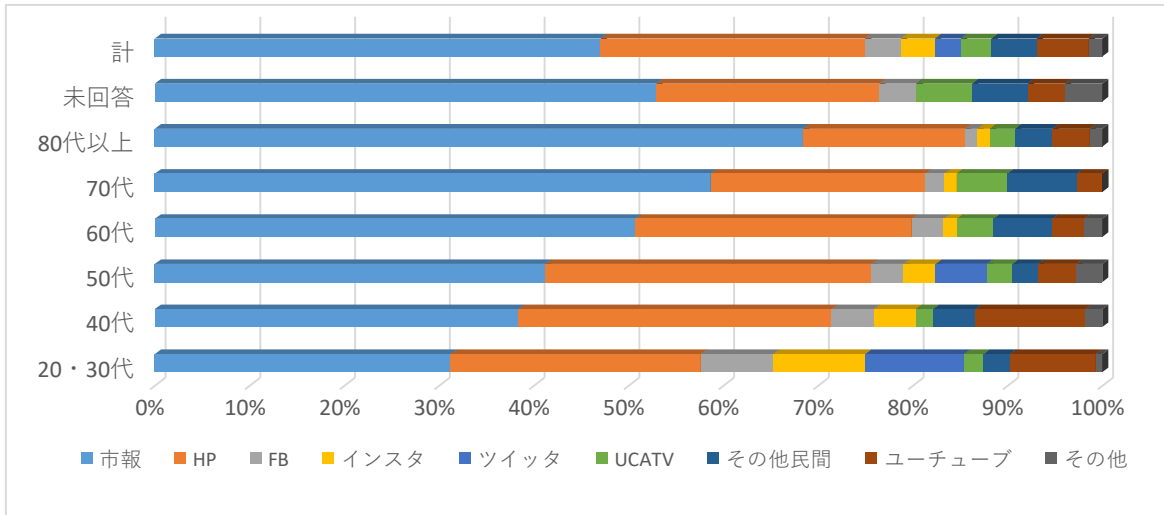
	利用者負担	市財政負担し堀之内	市財政負担し全域	難視聴対策に特化	わからない	その他
20・30	1	0	4	37	13	2
40代	2	0	4	30	7	7
50代	2	1	9	41	12	5
60代	2	1	11	69	24	7
70代	5	0	8	37	31	3
80代以	2	1	4	17	32	2
未回答	1	0	4	11	14	1
計	14	3	40	231	119	26
	3%	1%	9%	53%	27%	6%

特に20～60代で「難視聴対策に特化」の意向が高く、6割を超えている。全体では53%であった。



設問(7). 市政情報の希望

	市報	HP	FB	インスタ	ツイッター	UCATV	その他民間	ユーチューブ	その他
20・30	45	38	11	14	15	3	4	13	1
40代	43	37	5	5	0	2	5	13	2
50代	61	51	5	5	8	4	4	6	4
60代	106	61	7	3	0	8	13	7	4
70代	88	34	3	2	0	8	11	4	0
80代以	52	13	1	1	0	2	3	3	1
未回答	27	12	2	0	0	3	3	2	2
計	395	234	32	30	23	27	40	46	12



・年齢層があがるにつれ「市報」が高く、次いで「HP」であった。

・20・30代では「FB・インスタ・ツイッター」等SNSの割合が約3割を占めており、設問(1)の現在の状況では2割であることから、SNSへの今後の拡大の期待度がうかがえた。

・また、設問(1)の現在から今後の意向 設問(7)の傾向としては、現在よりも今後の方が、HP及びYouTubeの割合が高くなっており、自分が観たいときに観ることができる媒体への期待度がうかがえた結果となった。

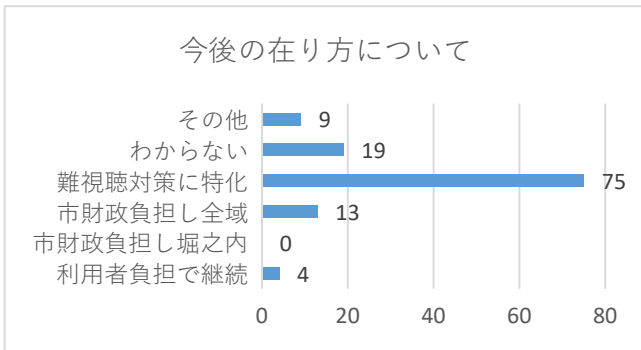
(2)

未加入者

①利用料金の認識の違いによる「今後の在り方」の意識の相違

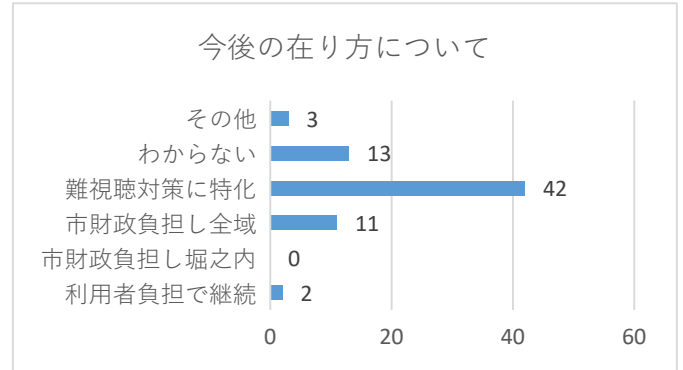
①利用料金が「高い」と感じている人

利用者負	市財政負	市財政負	難視聴対	わからな	その他	計
4	0	13	75	19	9	120
3%	0%	11%	63%	16%	8%	100%



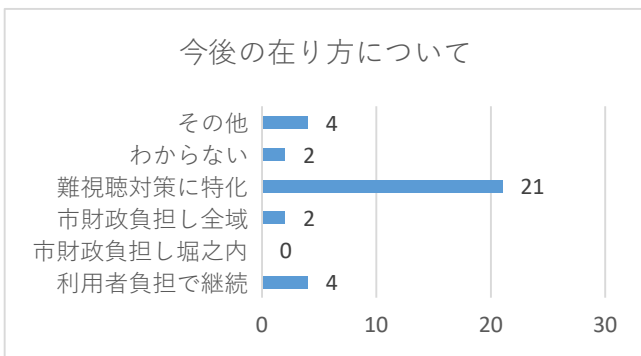
②利用料金が「妥当」と感じている人

利用者負	市財政負	市財政負	難視聴対	わからな	その他	計
2	0	11	42	13	3	71



③利用料金が「安い」と感じている人

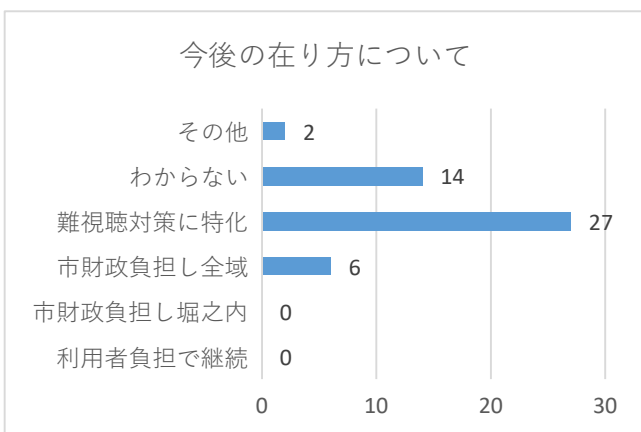
利用者負	市財政負	市財政負	難視聴対	わからな	その他	計
4	0	2	21	2	4	33



・「未加入者」のうち、利用料金の受け止め方の違いによる「今後の在り方」の差異はみられず「難視聴対策に特化」が大多数を占めた。

②堀之内地域（未加入者）の方の「今後の在り方」の意識

利用者負	市財政負	市財政負	難視聴対	わからな	その他	計
0	0	6	27	14	2	49



・「未加入者」のうち、堀之内地域在住の方についても「難視聴地域に特化」の意見が最も多かった。
 ・「堀之内のみ継続」という意見は「0」であった。